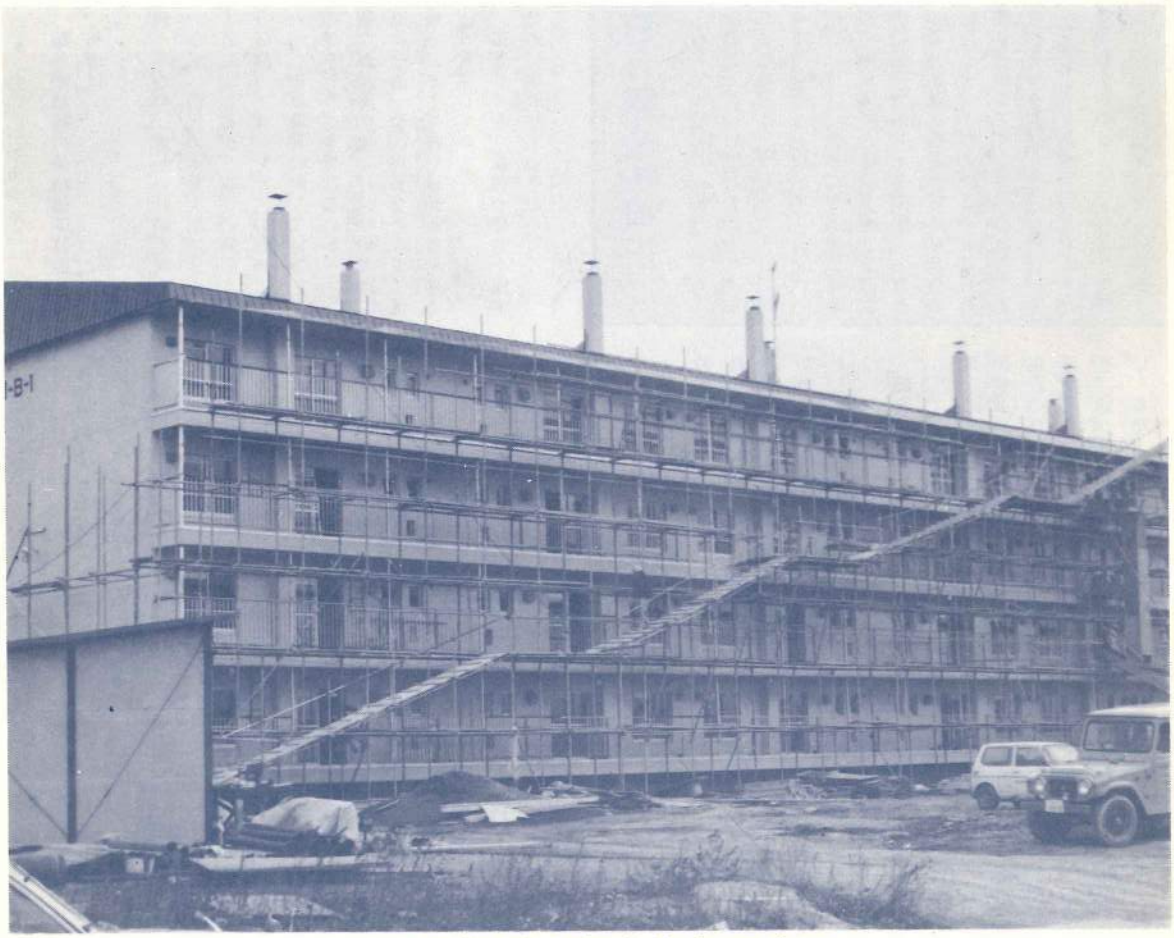
わっかない 市議会だより

第6号
昭和53年11月1日
発行
稚内市議会事務局
編集
稚内市議会だより編集委員会



8年ぶり市営住宅の建設（場所は末広、4階建24戸）

9月定例会の審査日程

9月22日（金曜日）　本会議
一、開会宣告、会期の決定
一、市長の行政報告
一、産業経済・建設委員長の結果報告（いずれも請願、陳情に関するもの）
一、水産関連問題対策特別委員長の中間報告
一、一般会計・臨港用地特別会計を上程（予算特別委員会に付託）

9月23日（土曜日）と24日（日曜日）　自然休会

9月25日（月曜日）　休　会

9月26日（火曜日）　本会議
一、市政に関する一般質問
・日本社会党　・民政クラブ　・公正クラブ

9月27日（水曜日）　本会議
一、市政に関する一般質問
・自民クラブ　・公明党
・日本共産党

9月28日と29日は休会
（予算特別委員会）

9月30日（土曜日）　本会議
一、各委員会の報告
一、人事案件、その他の議案
一、請願・陳情
一、要望意見書、要望決議
一、病院・水道事業会計決算の認定（決算特別委員会に付託、閉会中審査）

194億2,100万台へ

水道事業会計　28億4,900万
病院事業会計　19億7,880万

9月議会の概況

9月定例議会は、9月22日から30日までの9日間にわたって開かれました。

本会議第2日目と第3日目の一般質問では、**市長の6選出馬を始め、市民会館の建設見通しや温泉地域開発対策、水産問題、市民から要望の強い公営住宅の明年度の計画、市立病院の改築や看護婦の接遇態度等について**、市長の考え方や見解を質問しました。

また、予算特別委員会では、**市民温泉保養センターに関して開館時間の繰上げと繰下げや、同館の事業の予算の中でそれぞれ取り上げられるものがあり、十分検討の上最善をつくしたい。**

病院改築の時期と耳鼻科医の充足は　（社会党）

問　病院会計は、12月で再建団体の指定を解かれるが、市民の命と健康を守る市立病院としては、憂慮すべき現況にあり、この改築の時期と規模について明かにされたい。また、耳鼻科医の充足見通しはどうか。

答　財政再建が完了した翌年度から起債が認められるので、54年度から実質的検討に入りたい。

耳鼻科医は、関係先に要請しているが、絶対数が少ないので難かしいが、更に努力を続けたい。

越冬燃油等の価格値下げの指導は　（社会党）

問　本市の、厳しい経済不況下において、市民の消費生活はますます苦しくなるが、越冬必需品である灯油、プロパンガスの価格について、市は業界に対して積極的な指導を行うべきではないか。

答　燃油等の値下げについては、既に全道、全国市長会として、通産省に対して強い価格指導をするよう要望している。

市としても、最善の努力を促すため、指導していきたい。

市民会館建設位置は　（社会党）

問　かねてから要望の強い市民会館建設について、その後の位置等検討経過を示されたい。

答　建設積立金は、本年度3億6,000万円となり、資金的目途は立っているが、位置については、種々問題点があり、まだ決定を見ていない。早急に進展をはかり、市民の希望に応えたいと思っている。

寝た切り老人の巡回派遣者看護について　（社会党）

問　寝た切り老人に対して、巡回派遣看護制度を実施しているところがあるが、本市の54人程の対象者にも考えるべきと思うが、医師会との話し合いも含めて検討を進めてはどうか。

答　この、制度実施については、医師と、看護技術者の確保に問題が多いので、これからの研究課題としたい。

総合体育施設の建設は　（社会党）

問　この質問は、6月議会でもわが党より行っているが、総合体育施設の整備は急務と思われるので、再度市長の考えを伺いたい。

答　総合体育施設の建設については、都市計画事業と基地周辺整備事業の予算の中でそれぞれ取り上げられるものがあり、十分検討の上最善をつくしたい。

市長6選出馬の表明は　（民政ク）

問　去る8月12日の「明日の稚内を考える会」で市長は、6選出馬の意向を示したと報道されたが、開基100年の記念行事も滞りなく終了した今、本議会で正式に6選出馬の意志を表明すべきではないか、所信を伺いたい。

答　開基100年を祝し、輝かしい2世紀に向う時、私は、6選出馬して、稚内将来の長期展望に立った基盤づくりのため、重大な決意を新にして挺身し、市民の負託に応えたい。各位の倍層のご支援とご鞭撻をお願いしたい。

特定不況地域の指定について　（民政ク）

問　200カイリ影響による稚内と釧路の特定不況地域指定が内定したようだが、指定後、各般にわたる国の援助等のメリットを生かし、市長はどのように諸施策を進めるか伺いたい。

答　法案は、今臨時国会で通り、指定される見込であるが、指定後国の各種金融機関の金利、返済期日等融資条件が有利になるほか、市の公共事業の拡大、税財政上の優遇措置が認められるので恩恵は大きい。市の財政を確立して、今後、積極的に公共事業を推進すると共に企業誘致を促し、雇用の安定をはかる等最善をつくしたい。

天北炭田の開発は　（民政ク）

問　天北炭田の開発については、既に調査も完了し、答申も出ているが、いまだに具体的な進展が見られないのは、政府のエネルギー政策の中で、石炭は軽視されている現われでないかと考えるが、市長の今後の見通しを伺いたい。

答　天北炭田については、市の方針どおり実現方希望をもっているが、サハリンの石油、ガスと、ノシャップ沖海底油田開発との関連が多いので、総合的な判断を要すると思われる。

これらと平行して推進をはかりたい。

大型バスの購入について　（公正ク）

問　最近市の福祉、社会教育及び体育関係諸団体の活動がめざましく、他管内との交流や発表会、研究会、各種大会等、逐年その機会が増しているので、市は、大型バスを購入し、これらの便宜をはかるべきではないか。

答　大型バスは、各諸団体の働き

9月定例会

財政規模

一般会計	133億1,000万
国保会計	10億6,500万
臨港会計	2億1,730万

一部改修、今後の給湯見通し等について、また、し尿汲み取りに関して、市民に対する公社職員の接遇態度について指導を強めることなどについて質疑が交わされたところです。

採決の結果、2会計の補正予算8億5,280万余を起立多数（反対共産）で原案のとおり可決しました。

なお、今会議に提出された**病院事業会計と水道企業会計の決算については、13人の委員構成の決算特別委員会（委員長・渡辺郁夫）に付託し**、閉会中の審査ということに決まりましたが、この結果報告は12月議会で行なわれます。

「防災の日」の設定は

（公正ク）

問　稚内は、台風や地震の被害は皆無といえるが、雨に対しては側溝の氾濫等災害が深刻である。

側溝整備のため、年に一回「防災の日」を設け、全市一斉に清掃等を行う考えはないか。

答　地形的に豪雨、融雪時期の出水に弱い面があるので、市も側溝整備に努力しているほか、春秋には各町内の協力を得て河川及び側溝の大掃除をしているが、これを「防災の日」として、訓練も含めて実施するかは検討課題としたい。

温泉のホテル進出と湯量について

（公正ク）

問　市民温泉保養センター地域に、民営のホテル進出が報ぜられているが、その後の経過と、今後、温泉関係企業が集中する場合の湯量の不足はないか伺いたい。

答　市民に喜こばれている温泉附近の態勢が整いつつあり、現在おのおの企業的に進出方検討していることを聞いているが、民間ホテルは将来の大型機の就航に備えて計画を練っているようなので、市としては、明年にかけて煮詰める努力をしたい。また、湯量は、今のところ心配ないが、需要が上回るときは、適宜対応することにして行く考えである。

開発が期待される温泉センター周辺

道立稚内養護学校について

（自民ク）

問　稚内の道立養護学校は、中学部までであり、その後の社会復帰のための、いわゆる成人対象の職業訓練や生活指導ができないので放置されている現況である。

考える時期と思うかどうか。

答　可能かどうか関係者と十分協議の上善処したい。

婦人研修所と宿泊施設は

（自民ク）

問　婦人団体連絡協議会から、宿泊施設のある婦人研修所の建設方の強い要望があるが、市長の理解ある考えを伺いたい。

答　現在、母子福祉会館、婦人会館等があるが、単独に宿泊施設のある婦人研修所の設置は大変難かしい問題である。

現有の施設の範囲で、研修日程を作り、その実を挙げられたい。

そのための若干の費用を補助する等によって、この要望に応えたい。

水産加工振興は

（自民ク）

問　原魚確保、高次加工技術の導入、販路拡大、生産設備費の融資または助成等、総合的な水産加工振興対策の強力な推進が望まれるが、方針を伺いたい。

答　作年は、水産加工場の転廃業のため、業界は大変であった。

今後特に、販路拡大については展示即売会等の機会をつくり、稚内製品の宣伝に努めることとしているが、総合的推進をはかるため振興計画の策定を急ぐこととしている。

国民年金の特別納付について

（公明党）

問　国民年金未加入者救済のため、国は、特例納付の措置を打っているが、一時的に負担が大きいので、茨城県下で実施の掛金に対する特別融資制度を導入する考えはないか。

答　この制度には、償還とか保証人、その他の面で容易でない問題があると思うが、現在、道においても検討中と聞いているので、市も研究してみたい。

市民温泉保養センターについて

（公明党）

問　保養センターの浴槽を増設し、皮膚等の特定の湯治客専用として考える必要があると思うがどうか。

また、老人に対し「敬老の日」に無料解放してもよいのではないか。

答　現在の浴室のスペースでは専用浴槽の増設は難かしいし、増設しても果して利用があるかどうかわからないが、実態をよく見て考えたい。

老人に対しては、明年から70歳以上の方に、日を選んで無料解放したい。

第８回臨時議会から

会期は１日間(10月21日)

本年第8回目の臨時会は（定例会と臨時会を通算して第何回というため、このようになります。臨時会だけでは5回目）10月21日に招集され、**国の特定不況地域中小企業対策臨時措置法に本市が指定されることを前提条件として、景気浮揚策として1億6,270万円の補正予算案と、**現在、**恵比須一丁目に改築中の市営住宅16戸と末広に新築中の24戸の市営住宅の家賃を、それぞれ2万1,000円とする**条例改正案、また、**稚内市功労者の表彰を行なうにあたって、議会の同意を必要とする議案として、**

秋葉又五郎氏
井田石雄氏
大野幸一郎氏
島脇政三氏
長谷俊司氏
橋本岩一氏
石山千代治氏
川越秀次氏
千葉秀夫氏
中川栄吉氏
米沢秀雄氏
和田勝氏

の12氏が同意され、11月3日文化の日に表彰されることになりました。

さらには、6月議会において民生文教常任委員会（委員長・石丸義則）に付託され、審査をしていました**医療保険制度の改正に反対する要望決議案は、**同委員会においては可決すべきであるとの報告が行なわれたあと、全会一致で委員長報告を承認し、同決議案も可決され、**内閣総理大臣、厚生大臣、衆議院議長、参議院議長**に直ちに送付しました。

この決議案の内容は、第85臨時国会（10月21日閉会）に提出されようとしていました健康保険法の一部改正案は、医療費の患者負担が増えるということと、審議会においてさえも批判的であるのに、改正をすべきでないということであります。

公営住宅建設計画は　（公明党）

問　最近公営住宅入居の希望が多く聞かれるが、明年度の建設計画及び家賃はどの程度に考えているかを示されたい。

答　本年は、市営住宅40戸、道営住宅40戸計80戸建設したが、明年は50戸程度の用地を確保している。更に、富岡に雇用促進事業団として4階建2棟80戸を考えている。家賃は、市営住宅2万2,000円前後、道営住宅は面積が大きいので2万7,000円程度になる見込みである。

市立病院について　（共産党）

問　市立病院の改築は、宗谷地域の中核病院として考え、構想を改めて十分な用地に位置を移して、建設すべきではないか。

次に看護婦の接遇が依然不評であるが、指導についてどう考えるか。

答　昭和48年に病院建設委員会で、慎重に検討の結果、現位置に決定したものである。54年からの建設計画の中で、思い切った高層化と土地の有効利用をはかり、市民から喜こばれるものを建てたい。

また、患者、外来者に対する接遇については、たまたま行って見ると、全体的に大変忙がしい中でよくやっているが、一部不評があれば、十分指導することとしたい。

ノシャップのバス待合所について　（共産党）

問　ノシャップのバス終点待合所の設置と合せて、トイレの整備が要望されている。バス会社と協議して実現を促すべきではないか。

答　現在、廃車のバスを利用しているが、年内に3坪程度のものを、会社が設置することになっている。

尚、トイレについても今後考えることにする。

バス待合所を設置中

市道管理について　（共産党）

問　潮見4丁目にスーパー建設中であるが、杭打ちの振動で附近が迷惑しているので、この対応はどうするか。

また、この用地内にある市道の管理に問題があり、不安をもっている住民もおる現状を、どう解決するかを伺いたい。

答　ご指摘の工事による振動については、善処する。

また、この市道は横道路が実際的に不要となり、代替えの縦道路は、側溝を含めてスーパー側と話し合って、市が主体的に行うことにし、トラブルのないようにしたい。

議会用語解説

定例議会（法律上は定例会）は、毎年4回開かなければならないことになっておりますが、開く月は別に定められておりませんが、本市の場合は3月、6月、9月、12月に開くことを慣例としております。この議会には、いかなる議案も提出することができます。

臨時議会（法律上は臨時会）は、必要がある場合において、その事件に限り、市長がその件を告示して、招集することになります。

この時に、議会のほうから提出する議案がありますと、これも一緒に議会に提出することができます。

なお、**いずれの議会でも招集は7日前ですが、**臨時会は急を要する場合が多いので、実際は3、4日前になります。

予算審査特別委員会から

9月定例議会において、昭和53年度の一般会計補正予算（第5号）並びに臨港用地造成事業特別会計補正予算（第1号）の2件を審査するため、予算審査特別委員会（委員長　石丸義則、30名構成）を設置しました。

審査は、一般会計から進めましたが、その質疑の主なものは次のとおりでした。

まず、民生費では温泉保養センターの運営について、①開館時間の繰上げ、②現ボイラーの能力と給湯の今後の見通し、③管理体制の確立、④温泉の飲用と表示等の質問がありましたが、①開館時間は、8月の実績では、平日11時から開館しても利用者が少ないため、現在の時間帯としたものであり、了解されたい。②は、現在30万キロカロリーのボイラーが3台あり、この内2台を給湯に使用しているが、1台1時間当り5トンの能力があるので、作動後約3時間で必要量が確保できることになるが、新設のため、まだ全能力を発揮し得ない面があったが、今後の湯の増量には、対処できる見込である。③これまでの経緯から、企画部所管としているが、開館間もないところから全態様を把握しにくい現在、全面的な母子会への委託を含め、検討に時間が欲しい。④温泉飲用施設を設け、表示等善処したい旨それぞれ答弁があり、

総額8億5,280万を
（一般会計8億1,780万、臨港会計3,500万）
起立多数で可決する。

次に、衛生費においては、し尿汲取り作業能率の向上と市民の利便を図る目的で、地区毎に3ヵ月に1回巡回収集する制度変更について、①巡回期間の短縮、②臨時の汲取り扱い方法と衛生公社職員の応接態度等について質しましたが、①については、一応原則として、過去の実績を勘案し、3ヵ月に1回としたが、今後実態に応じ、適宜対処できるよう、尚細かく検討する。②公社職員が親切な応対をできるよう指導に努めたいとする答弁によって了承しました。

また、このほかに抜海駅自転車置場の設置内容とか、最北端の碑の移設計画等に対する質疑や意見もありましたが、参与の答弁や説明によって審議を終了しました。

臨港用地造成事業特別会計については、補正予算の細部説明によって了解し、それぞれ起立多数で原案のとおり決すべきものとし、付託された2件の議案審査が終りました。

関係行政庁に送付した意見書と決議書

- 民有林造林事業の推進に関する要望意見書
  （内閣総理、大蔵、農林水産、通産の各大臣、道開発庁長官、道知事、林野庁長官）
- 東京ラウンドにおける農畜産物輸入拡大阻止に関する要望意見書
  （内閣総理、大蔵、農林水産、通産の各大臣、食糧庁長官、経済企画庁長官）
- 老齢者医療保障制度の抜本改革に関する要望意見書
  （内閣総理、大蔵、厚生の各大臣、各政党）

- 水産都市の特定不況地域の指定に関する要望決議
  （内閣総理、大蔵、通産、労働、農林水産、自治の各大臣、経済企画庁長官、道知事）
- 一般消費税の新設に反対する要望決議
  （内閣総理、大蔵の各大臣、衆議院議長、参議院議長、各政党）
- 医療保険制度の改正に反対する要望決議
  （内閣総理、厚生の各大臣、衆議院議長、参議院議長）

請願と陳情

９月議会に提出された請願は、札幌市在住団体の**学校法人北海道朝鮮学園理事長　李　鐘甲氏から、**本学園に対して私学振興の見地から助成措置を講じてほしいとの内容でありますが、その内容については慎重に審査を要するとの各会派の意見一致で、**民生文教常任委員会に付託をし、閉会中の審査**をすることになりました。

また、**一般消費税に反対する連絡会議代表委員　柳田精三氏ほか46団体から提出された一般消費税の新設に反対する請願は、**引き続く不況と物価高に加えて、失業者が増大し、国民の生活が深刻化している現在、本税の新設は実質収入の減、物価上昇の要因ともなるものであるから、稚内市議会の名において反対の決議を関係行政庁に提出してもらいたいとの内容でありますが、**本件については、全会一致で採択をし、関係機関にその内容を送付しました。**

なお、閉会中において各委員会に付託中の請願、陳情については、稚内・豊富間の定期バスの運行に関する陳情を除いては、総て採択となり、それぞれの請願者に通知しました。

９月議会の提出議案とその結果

■……**市長提案のとおり決ったもの**……■

- 昭和53年度稚内市一般会計補正予算（８億1,780万4,000円）……（起立多数）可決
- 昭和53年度稚内市臨港用地造成事業特別会計補正予算（3,500万円）……（起立多数）可決
- 富磯漁港区域内公有水面埋立て……可決
- 稚内地区視聴覚教育協議会規約の一部変更……可決
- 市道路線の認定（総延長1,725.65km）……可決
- 市道路線の変更（はまなす団地内道路）……可決
- 稚内市議会委員会条例の一部改正（常任委員会の所管事務の変更）……可決
- 教育委員会委員の任命（山品俊邦氏）……同意
- 公平委員会委員の選任（工藤　直氏）……同意
- 固定資産評価審査委員会委員の選任（小林秀雄氏）……同意

■……**閉会中継続審査となったもの**……■

- 昭和52年度公営企業市立稚内病院事業会計決算の認定
- 昭和52年度公営企業稚内市水道事業会計決算の認定
  ……決算特別委員会付託
- 私学振興助成金交付に関する請願（札幌市在住団体から請願人李鐘甲）
- 医療保険制度の改正に反対する要望決議（各議員が提出者）
  民生文教常任委員会付託
- 稚内・豊富間の定期バスの運行……６月24日総務常任委員会付託

■……**採択された請願、陳情及び可決された要望意見書、要望決議書**……■

- 西稚内（坂の下から近布先まで）の斜路修復方に対する請願
- 民有林造林事業推進に関する請願（関係省庁に意見書提出が条件）
- 東京ラウンドにおける農畜産物輸入拡大阻止に関する請願（〃）
- 声問西浜消波提設置に関する請願（関係省庁に決議書提出が条件）

  ６月24日産業経済経済常任委員会に付託中のもの

- 公営住宅の建設（曲渕地区）
- 幹線市道の舗装化促進（勇知地区）
  ……６月24日建設常任委員会に付託中のもの
- 一般消費税の新設に反対する請願
- 水産都市の「特定不況地域」の指定に関する決議
- 民有林造林事業の推進に関する要望意見書
- 東京ラウンドにおける農畜産物輸入拡大阻止に関する要望意見書
- 老齢者医療保障制度の抜本改革に関する要望意見書
- 一般消費税の新設に反対する要望決議

編集だより

・「市議会だより」第６号をお届けします。

この号は９月議会を中心に編集しましたが、皆さんのご意見、ご感想をお聞かせ下さい。

連絡先は電話３局６１６１　内線２８１です。

・誌面の都合で、関係行政庁あての要望意見や要望決議は件名のみを載せましたが、この内容をお知りになりたい方は、ご一報下さい。

・次の定例会は、12月の初旬か中旬になると思いますが、来年の４月は市長、市議の改選時期にもあたりますので、12月議会は本年最後の議会でもあります。

一度議会の傍聴にお出かけになりませんか。